

## 三田市立幼稚園再編計画（案）説明会概要

【本庄小学校体育館：出席者数：20人】

日時：9月19日（土）16：00～18：10

発言者	出席者の発言（概要）	市の回答（概要）
A	<p>①説明資料に「幼稚園は学校教育の始まりです。」となっています。どうして教育委員会の管轄ではないのですか。同じことで平成31年1月に「三田市立幼稚園のあり方に関する基本方針」を策定したという主語が教育委員会との説明がありましたので、幼稚園は教育委員会というイメージを持っていました。</p>	<p>①平成31年度の三田市の組織改正において、就学前の保育・教育を一元的に進めていくため、子ども・未来部という組織を市長部局に設けました。教育基本法に基づく幼児教育のため、教育委員会の事務を補助執行という形で市長部局が進めるという位置づけです。教育行政の中で動いており、教育委員会の仕事を市長部局が補助して、私どもの部局が実際に事務を執行しているということです。「三田市立幼稚園のあり方に関する基本方針」は、平成31年1月に策定し、当時は幼稚園の事務を教育委員会が所轄していましたが、平成31年4月の組織改正により、それ以降は市長部局が担当しています。</p>
	<p>②説明資料の「認定こども園のイメージ」というところで、2号認定子どもにはおやつがあるのですが、預かり保育のところにおやつがないのは、仕組み上、そのようになっているのでしょうか。これは子どもにとって、すごく大きな問題だと思いますので説明をお願いします。</p>	<p>②預かり保育のおやつ提供についてですが、2号認定の子どもだけが食べて、1号認定の子どもが食べられないということは不自然なことですし、預かる子ども皆さんに提供する形で検討していきたいと考えています。 具体的なことについては今後検討することになりますが、おやつはそのような方向で考えていきたいと思っています。</p>
	<p>③通園バスの乗車場所はバス停ですか。バス停まで送って行かないといけなくなるのですか。タクシーのように家の近くで乗せてもらうことはできないのですか。</p>	<p>③基本的には主要道路、公共交通のバスルートで乗っていくようなことを考えています。どこから子どもたちが何人乗るかというのは、今のところ把握は難しいので、前年度に通園バスの希望者を確認してから具体的な通園バスのルート、停車場所を設定したいと考えています。基本的にはバス停付近など、安全に停車、乗車ができる場所を設定したいと考えています。</p>
	<p>④1号認定・2号認定の説明があったが、3号認定の説明がなかったため説明をお願いします。</p>	<p>④就学前の子どもたちを1号認定子ども、2号認定子ども、3号認定子どもと呼んでいます。1号認定は今までの幼稚園利用の子どもです。2号認定、3号認定は、保育所利用の子どもと考えていただければと思います。2号認定は年齢が満3歳以上で3歳未満は3号認定です。今考えている認定こども園は3歳児以上を対象としていますので、1号認定・2号認定子どもを対象として計画案に表現しています。</p>
	<p>⑤計画案の「望ましい集団規模の確保」に学校教育法、幼稚園教育要領に照らしと書いてあるが、どちらも国が決めている全国統一のものであり、三田市独自の考え方や発想がないのは非常に寂しく、悲しい。三田市独自の発想などがないと三田らしくないと思います。</p>	<p>⑤三田市独自の教育方針についてですが、三田市立幼稚園では、自然豊かな地域の中で、子どもたちの心と体を育てていくということで、園庭を芝生化し、その中を走り回って、友だちと触れ合いながら、心と体を育てていくことを大切にしています。わくわく体操も取り入れ、子どもたちの体幹を育て</p>

<p>以前は大きな声で言われていた「子育てするならゼツタイ三田」。今これを読んでそう思いますか。子育てするなら本庄は良いところなので引越しておいでと言えるか、言えないかです。ここは大きな問題と思っています。</p> <p>一番問題になっているのは、子どもの数が少ないことで、なぜ本庄が少ないのか市はわかっていますか。</p> <p>私も子どもが近くに家を建てたいので帰って来ると言ったが、建てる許可が出るまで3年もかかりました。3年というのは、子どもの発達にとってすごく長い年数であり、それなら幼稚園に行かなくてもいい。それほど時間がかかるのならやめるとなります。我が家はできたからいいが、そういうことが根っこにあります。農村部に子どもが少ないのは、地域が抱えている問題もありますが、それ以上に今までの市の開発政策が大きなネックとなっているということをお本庄に住んでいる人皆が思っていることです。</p>	<p>ていく取り組みもしています。そして、何よりも地域の皆様に支えていただきながら、畑の栽培など地域ならではの特色をいかした活動ができるのも三田市の教育の良いところだと思っています。そのようなことを土台にしながら、子どもは子どもの中で育つ部分もたくさんあり、子どもたちを育てていくうえで、子ども同士で関わりながら学べる環境をこれからも考えていかないといけないと思います。</p> <p>本庄地域の園児がなぜ少ないのかということですが、規制がない時代に三田市内で開発が進み、たくさん家が建ち、そこに新たに定住される人が増えたということを見ると都市計画の規制の関係で家を建てるのに制限があるということも原因の一つではないかと思っています。さらに全国的な社会情勢の中で、どんどん家を建てて新たに郊外に住んでいくことが少なくなっているのも事実です。</p> <p>三田市においても農村部の人口が減少傾向、少子高齢化になっているというのは同じような傾向です。地域の課題というよりも市全体の課題ですので、市全体で取り組んでいかなければならないと認識しています。</p> <p>幼稚園の問題については、現在幼稚園に通われている、また今後通われる園児のためには、この状況でどうしたらいいのかということで、今回の提案をさせていただいています。</p>
<p>⑥計画案の跡地の利用について、民間活力の導入となっているが、何か具体的な考えはあるのですか。避難所に指定されているのは小野幼稚園だけでよろしいですね。</p>	<p>⑥はい。避難所はそのとおりです。跡地の利用については、今のところ具体的な案はございませんが、地域の方が主体的に活用していただけるようなこと、また民間で活用ニーズがあれば、そういうものを想定しているということで、できれば地域の活性化に資する活用があれば、ご意見を伺いながら進めていきたいと思っています。</p>
<p>⑦最初の部長の挨拶の中に、幼稚園というのは地域にとってすごく大事な施設という認識があるという話でした。そう考えてくださるのは有り難いが、言い方は「よくわかっていますが」と。言葉・言い方というのは「が」というと全部なしになってしまい、生きてくるのは後だけになるので、「が」と言わないでほしかった。両方考えているように見せかけて、実は前を全部捨てている言い方が「が」である。他の方も多分同じように聞かれているのではないかと思います。これはもう少し前向きな発言でしたけれど、本庄幼稚園もそうですけれど、地域の方の協力があり非常に独特のすばらしい教</p>	<p>⑦本庄幼稚園の教育については、地域の皆様に支えていただきながら、子どもたちが心豊かに育っていると思います。今日もこちらに参りましたら、環境がすごくきれいに整っており、これも地域の皆様が幼稚園、小学校のためにくださっていると思いつつ見えています。そういう中で、子どもたちが育っているというのはとても幸せなことだと感謝しています。</p>

	<p>育をされています。小さな子どもたちにとって大勢の中で学ぶことも大事なことです、それ以外に地域の人との触れ合いや先生方や友だちとの密接な関係などがすごく大事に思います。</p> <p>それぞれの園が持っている良いところをどのように捉えて、今後どう生かそうとしているのか、本庄幼稚園の取り組みをどのように捉えて、それを今後どのような形で生かそうとしているのかをお聞きしたいです。</p>	
	<p>⑧これからも声は上げていかなければいけないと思います。</p> <p>もう一つ付け加えれば、部長の挨拶の「が」について申しあげたが、せめて両方並ぶような言い方ができないのかという気がします。計画案2ページの「少人数はきめ細やかな指導ができる一方で」の「で」が「が」に読めてしまう。これをひっくり返して読む言い方はできないのか。「人間関係の固定化や選択肢が狭くなる」というところは、地域の方々や先生方の努力でいくらかカバーできていると思います。これを前に持ってきて、けれども少人数のきめ細やかな指導はこの年齢の子どもにとってすごく大きいのではないのか。三つ子の魂という言葉がありますけど、幼稚園の頃までの大人との関わりは本当に大きいことだと私自身は感じていますので、そのあたりを言いたいと思いました。</p>	<p>⑧2ページの書き方ですが、ここは課題として書いています。</p> <p>少人数できめ細やかな指導ができることは、少人数の良いところだと認識をしていますが、ご意見にあった書き方をすると課題として認識をしていないと見られるかもしれません。</p> <p>どちらにもそれぞれ良いところがあることは認識しています。</p>
B	<p>⑨中学の統合のときもそうですが、再編ありきで資料を作られています。行政の縦割りかもしれないが、市立幼稚園だけで話されているのが納得できません。今三田市は待機児童が何人いますか。</p>	<p>⑨三田市の待機児童数は、令和2年4月1日現在で57人です。</p>
	<p>⑩その57人の行き場は決まっているのですか。</p>	<p>⑩57人は待機児童ということで、自宅にいらっしゃいます。</p>
	<p>⑪なぜ、自宅にいる形になっているのでしょうか。三田市として受け入れてないから自宅にいるわけですね。</p>	<p>⑪保育を希望されている方に、その希望に応じて市内の保育施設に入っただけのように三田市で決めていきます。</p> <p>そこには優先順位、保育の必要性が高い方やご希望の程度があり、例えば1か所の施設しか希望されない場合で、その施設が満員で入れない場合もあります。特に1、2歳の子どもの待機児童が多く、育児休業を延長されたりする中で、ご家庭で保育されている方がいらっしゃいます。</p>
	<p>⑫そのような人がいることを知っているのだったら、何か策を講じるべきだと思います。それをしないで再編して幼稚園の数を減らして認定こども園となり、私も働こうと思って希望されたときに定員</p>	<p>⑫集団規模の確保という課題が解決しないことと、かなりの資源が必要となるということで、このまま本庄幼稚園を認定こども園にしていくことは非常に難しいです。財源的に負担を少なくしたいという思いで再編を進めようと</p>

一杯で入れないとなると元も子もない話です。そこまでの調査をしっかりとって、このグラフに表せばいいのですが、それがなくて、しっかりとマーケティングをして、未来へ向けても対応できるという話をしてもらいたいです。

この話では、子どもたちのことではなく、これだけの数の幼稚園があると経費がかかるので、市長から経費を少なくするように言われて、三田市として経費を抑えたいとしか聞かえないです。そこに子どもたちの顔はないのです。中学校のときもそうでしたが、少し考えていただきたいです。

再編し認定こども園になったから、働こうと思って2号認定の子どもを申込んだが、定員が一杯という状況が生まれないようにしてもらいたいです。それであれば再編しないで本庄幼稚園を認定こども園にしたらい。本庄なら空いており、地域がサポートして、整備された園庭の芝生や、周りには果樹園が一杯あり、いろいろな果物が採れる。そのようなメリットがあるから本庄幼稚園を認定こども園にしたらい。

そのあたりのことまで考えてこの再編をしているのか少し疑問です。どのような状況になっても待機児童が0人となるように再編してもらいたいです。

⑬この資料は市立幼稚園を主体とされていますので、市全体の課題をもう少し盛り込んで、それにどのように対応していくかというところがないので、少し信じられないです。

三田市に住んでいる人にマーケティングをして、小さなお子様がいる方にアンケートを取り、長期的な展望を示して、再編しても十分に受け皿になるというような答えを持って来てもらったのなら納得できるが、そのあたりが足りないので信用に欠けるというのがあります。

子どもが少ないので、数が多い方が良いという気持ちはあるが、再編した先に困る家庭や子どもが出てくるのであれば、再編はよくないと思います。

しているのではございません。

現在の幼稚園を取り巻く状況の中で、集団規模の確保と保育ニーズに一定の対応をしていくために、再編統合による認定こども園化を進めているものです。

保育ニーズへの対応については、地域のニーズに応える必要もあるのですが、地域的な偏在もあり、三田市全体で保育ニーズに応えていきたいと思っています。

単に幼稚園を再編していくだけではなく、認定こども園が保育の受け皿になり、1号認定の子どもの預かり保育についても午後4時30分までですが、週5日に拡充していくことで一定の保育ニーズへの対応もできていると考えています。

現時点で全てのことに対応できるというところまでには至っていませんが、考え方としては、さまざまなご要望をお聞かせいただいて、できることはしていきたいと思っておりますし、できないことについても何とかしていくように努めていきたいと考えています。

⑭貴重なご意見ありがとうございました。今回、あまりにも公立幼稚園だけを切り取ったような説明になっていたのかなと思います。市としては、市全体の子ども、子育て家庭のために、この認定こども園化がどうなのかという位置づけも含めて示す中で、市全体の問題としてこれを練り上げたということの説明の仕方が足りなかったと反省しています。

この前段では、子ども・子育て支援事業計画において保護者にアンケートを取り、附属機関の審議会でも就学前の保育・教育のニーズ量、必要性を推計し、一定の保育施設の確保の仕方、市立幼稚園の認定こども園化の必要性について答申をいただく中で進めてきています。

現在の待機児童対策に関しては、ウッディタウンの希望者が一番多く、特に低年齢児の希望が大半を占めています。他の施設も案内していますが、身近な保育施設を利用したいというのが一番のニーズでした。そこで、定員120人規模の認可保育所を新たに建設することを予算化して進めています。全体の施策の中でどのように進めているかということについて、どのような説明

		<p>の仕方がよいのかを持ち帰って検討します。</p>
C	<p>⑭今までのご意見を聞いて思ったのですが、ウッドィタウンでたくさん待機児童が出ています。でも本庄は子どもがいないから統合します。その根底にあるのが調整区域です。家が建たないから子どもが増えない。新しいところには家が建つから子どもがいる。結局、足りないから建設したい、まとめたいという話ではないですか。</p> <p>少し前の話しでは神戸市の待機児童は数人です。三田市の人口と比べると全然待機児童の数が違います。待機児童が増えてきたからやるというのは、市としては、段階的に遅いのではないですか。調整区域だから仕方がないと話を済ませてしまうと、施設がないから子どもが来ないということで田舎の過疎化は進んでいきます。</p> <p>話を聞く、いろんな意見に応えると言っているが、どこまで吸い上げてもらえるのかがはっきりわかりません。</p> <p>今までどれだけの予算をつぎ込んで、統合されると予算がどう変わったということが目に見えてわかれば、子どもたちのためとわかるが、単に今困っているから再編するというような感じがします。</p> <p>私の子どもはこれから幼稚園に行くのですが、再編して大きいところに行くのが良いのか、小さいところに行くのが良いのか、基本的にはまだわかりませんが、言っていることが一方的な感じがしてすごく不快です。まだ案の段階ですが、意見を言ったから変わるのか、それとももう決まっていて、既定路線で行ってしまうのかわかりません。</p>	<p>⑭三田市全体の対策の中で、これまで保育園や小規模保育施設の整備を続けてきました。</p> <p>平成27年に子ども・子育て新制度が始まり、そこから整備を進めているので、保育の受け皿も800人以上増えてきています。保育を希望される方が増えてきている中で、年次的に進めてきましたが、昨年度から今年度にかけては、受け皿の拡大がなかなかできない状況の中で、今年4月1日現在、57人の待機児童が発生しています。</p> <p>待機児童については、昨年度からさらに増えるという予想のもと、計画を作り、今年度予算化し、一番待機児童の多いウッドィタウンに認可保育所をつくるということになりました。</p> <p>それと併せて、今回の計画案の話をしていますので、ウッドィタウンには保育園ができる、農村地域の幼稚園は無くなるという構図になっています。</p> <p>これはあくまで案ということで、現在の公立幼稚園の問題に焦点を当てて解決するというご提案をしています。小規模のままの方が良いのか、集団の中で教育を受けるのが良いかについては、いろいろな意見があると思います。</p> <p>今の規模では、やはりしんどいということで、農村地域で一定の集団規模を確保していく、そして保育ニーズに応えるために、認定こども園をつくっていくということをご提案しています。</p> <p>その中で本庄幼稚園が無くなるということについて、お気持ちとしてはわかります。将来の本庄地域の子どもたちが幼児教育を受ける環境を整えるために、市としては、今の規模ではなく、再編して適正な規模を確保し、幼児教育の場を作っていくと考えています。</p> <p>計画が案の段階ですので、当然、皆様のご意見等を踏まえまして、最終的に決めていくということになります。本当に一番良い方法が何なのかを真剣に考えていきたいと思っています。</p>
	<p>⑮新型コロナウイルスが発生した状況で、街から少しずつ環境の良いところへ戻っていきという機運がある中で、この計画自体が変わってくるということは考えられますか。</p> <p>街の中に人が集まり過ぎて、また、このようなウイルスが発生したら怖いと移住する人がいます。この地域は人がそう簡単には増え</p>	<p>⑮「三田市立幼稚園のあり方に関する基本方針」の策定時には、新型コロナウイルスはありませんでした。現在、新型コロナウイルスの影響下において、就学前教育・保育施設では、この対応をしながら教育・保育を進めています。新型コロナウイルスの発生以降、世の中の人の価値観が遠隔、あるいは分散という形に少し変わっているところがあり、大きな流れの中では、人々の行</p>

	<p>ないと思いますが、先に何があるかわからないので、幼稚園を無くしてしまうと同じところに同じものはつけれない。簡単に変えることができないかもしれませんが、予定を少し変える可能性はありますか。</p>	<p>動変容が社会の変容につながっていく可能性はあるかと思います。</p> <p>ただし、今後の新型コロナウイルスについては、未確定の部分があり、それに対してこの計画を変えていくことは想定していません。状況が動いていますので、そういうことが絶対にはいえませんが、現時点ではそのように考えています。</p>
D	<p>⑯幼稚園は第一に園児の教育の場であるというのが最優先で、その次に幼稚園に通わず保護者たちの生活を支援するためのものであると思います。</p> <p>待機児童の話の中で、いろんな受け皿となる幼稚園を紹介しても毎日のことなので、なるべく近くの幼稚園が良いということで待機児童が増えていると言われました。毎日に関わることで、自分の家の近くの幼稚園に行きたいと思っている農村部の方のニーズは切り捨てられるということではないのですか。</p>	<p>⑯できるだけ近くという思いは皆さん同じで、再編・統合しますと、近くにあったものが離れていくということは生じると思います。</p> <p>しかしながら、集団化によって、それを上回るような教育環境を整えていくことでご理解をいただきたいと思っています。そのうえで、できるだけご負担のないように通園バスを検討しています。そういう中でご意見を反映していきたいと思っています。</p>
	<p>⑰合併するとしたとき、その場所が広野・本庄・藍地区に対して、広野幼稚園が本当に立地的に良いのですか。</p>	<p>⑰広野幼稚園の位置につきましては、3地区全体の中で、交通の結節点など、そこが適切であると判断させていただきました。</p>
	<p>⑱道路に近かったら、それが利点になるということですか。距離は関係ないのですか。</p>	<p>⑱広野地区、本庄地区、藍地区、それぞれ距離が違っていると思います。その中で道路の形状や一定の距離、広野地区もかなり広いので、全体を一つのエリアとして捉えたときに3園の中で一番来ていただきやすい場所が広野幼稚園であると総合的に判断させていただきました。</p>
	<p>⑲広野幼稚園にするという方向で進めるのであれば、園児にとって一番大切なこと、幼児教育にとって広野幼稚園が一番利点があるという点を説明してほしいです。</p>	<p>⑲それぞれの公立幼稚園において、その環境の中で保育を進めています。本庄幼稚園よりも広野幼稚園が良い保育ができるのかということではなく、それぞれの幼稚園の環境の中で、子どもをどう伸ばしていくのかということを考えながら、職員は毎日の保育にあたっています。</p> <p>広野幼稚園も地域の方々にご協力をいただいていますし、小学校の連携や、さまざまな人に支えていただいて、園運営をしているということは本庄幼稚園も広野幼稚園も変わらないと思います。</p> <p>どちらが良いということではなく、送迎のことや道路上の位置的なことを考えて、広野幼稚園を考えているところです。</p>
E	<p>⑳私には幼稚園に入る家族はいないが、幼稚園では間に合わない、保育をしてほしいというニーズがあり、私立の保育園に通われている方もおられます。現在ここにあるのは、あくまで4歳5歳の幼稚園です。再編について家族に聞くと、たくさん子どもで切磋琢磨</p>	<p>⑳いただいたご意見については、なかなか難しいところがあり、手法の優先順位としましては、直ちに適正な集団規模や、保育ニーズへの対応をするために、今回の再編と認定こども園化をご提案しています。</p> <p>再編を急がずに、認定こども園化をやりながらでよいのではないかと</p>

<p>する必要がありと言っています。</p> <p>しかしながら、歴史的なところがあり、子どもの数が少ないからダメだというのではなく、この地域に認定こども園を開設し状況を見て、これでは無理というステップを踏むのであれば納得できますが、再編ありきで統合して認定こども園にするというステップは何となく違和感があります。</p> <p>答申での適正規模は園児数が15人から30人となってこの計画案が作られているということですが、4歳児、5歳児の人数を見ると、志手原認定こども園は15人を確保するのがギリギリであると見えてしまいます。数年後に子どもの数が減れば、また再編するのかわかりやすいイメージがあります。15人が良いのかわかりませんが、決めた以上はそれに則って行政が動くと思います。志手原認定こども園は、令和2年度現在の人数からいうと、30人や35人に到底届かないと思います。</p> <p>ニュータウンだけは新しい世帯が来て子どもが増えてきたが、フラワータウンにしても高齢化が進んでいます。田舎の働きたい親のお子さんは保育園に行っていて、公立幼稚園には入ってきません。統合するという話になると地域の位置づけとして、私たちは子どもたちをどうやって見守っていくのか、みんなバスに乗って連れて行かれるというようなどころがあります。</p> <p>これは今入ろうとしているお子様の親御さんとは違う考え方だと思います。今何とか通わせて、早く入れたいと切実な思いをされている親御さんは認定こども園に行かし、幼稚園に通わせていません。小学校になって初めて何人か増えるということを繰り返しているのので、本庄幼稚園を認定こども園としてやってみて、その結果で再編するというのであれば、地域も納得できると思います。園児が少ないので、あまり言えないかもしれませんが、個人的な意見です。</p>	<p>ご意見を承りました。市としては、直ちに認定こども園化を統合と同時にし、できるだけ早くということ、時期を一旦お示ししていますが、そういうお気持ちやお考えがあるということは確かに一理あるかと思います。難しいかもしれませんが、ご意見として受け止めさせていただきます。</p> <p>志手原の園児数の今後の見込みについては、実際にわかる0歳児までの人数を書いています。その後も全体の人口は減少しますので、志手原としても減少していくかもしれないということは予想されます。</p> <p>ただし、認定こども園は1号認定優先で入園募集しますが、1号認定が少なくなれば、保育が必要な2号認定の定員を増やしていきます。2号認定は園区内だけではなく、全市的に入園できる形になりますので、例えばウディータウンで保育所が満杯であれば、志手原幼稚園の2号認定という可能性もあり、2号認定の子どもが増えていくことも一定想定しています。</p>
<p>㊤本庄地域を住み良いまちとして守っていくために、地域の子どもたちが早く通えるようにしてほしいと思います。ニュータウンで待機児童が発生しているから、こちら側に回してほしいという言い方をされています。そうではなく、本庄地域に住んでいる、また住んでもらえるようにするために、本庄地域に住んでいるお子さんを早く認定こども園に入れていただきたいと言っています。</p>	<p>㊤ご意見は真摯に受け止めさせていただきます。</p>

	<p>本庄幼稚園に入る、入らないではなく、小さいうちから保育をしていただけるような仕組みにしてほしいです。今話をしても検討しますという返事しか返ってこないと思いますが、思いは受け止めてください。</p>	
F	<p>㉔4歳と6歳の孫がいます。広野は交通の便が非常に良いということですが、出入り口は非常に狭いです。本庄、藍の方が送迎されるとすれ違うのもできない状況であり、駐車場も狭いです。交通の便や駐車場の関係からすると本庄の方が良いと思います。財政が厳しい中で新しく建てることは大変だと思いますが、場所も広野一辺倒ではなく、本庄、藍の方が送迎しやすいようなことも検討してください。</p>	<p>㉔広野幼稚園の出入りの問題についてのご指摘ですが、実際に活用する場合は、安全面について、しっかりと対策を講じていかなければならないと思っています。広野幼稚園は正門のところに若干の駐車場があるのと、国道に面したところにも駐停車可能なスペースがあります。</p> <p>現時点で具体的な内容を作っているわけではございませんが、本日のご指摘をしっかりと受け止めて、点検し、必要となる安全対策について、検討を進めてまいりたいと考えています。</p>
	<p>㉔送迎のことで、最寄りのバス停付近ということを言われましたが、本庄は真ん中に県道が通っていますが、横にも広く住民が住んでいることを考えていただきたいです。車が多く走っている県道で年寄りが交通事故を起こさず、子どもの送迎ができるか不安です。幼稚園の統合を考えているのであれば、もっときめ細やかな送迎を考えないと皆さんもなかなか賛同してもらえないと思います。本庄地区は幅も広いので、バス停まで行くぐらいなら認定こども園に直接送迎するということになります。統合して良くなることを一番に考えてほしいと思います。</p>	<p>㉔通園バスの停車の関係ですが、一例でバス停付近と言いましたが、バス停付近以外でも子どもにとって安全で安心な乗降場所を保護者の皆さんと検討していきたいと思っています。実際は、前年度のバスに乗られる方の乗車場所を確認させていただき、全体の乗車時間も勘案しながら一緒に考えていきたいと思っています。</p>
G	<p>㉔先ほどから皆さんのご意見を聞くと、どちらかというと否定的な声が多かったと思います。再編計画案の「案」がとれる流れを教えてください。</p>	<p>㉔本日から7会場で説明会を行い、そこでいろんなご意見を承り、引き続いてパブリックコメントにより意見を頂戴させていただきます。その後については、今日からご意見を頂戴し始めたところですので、ご意見の内容によって進め方が変わってきます。この問題は待ったなしの状況ですので、可能であれば今年度中に一定の結論は導き出したいという思いはありますが、頂戴したいろんな意見を踏まえて、その後のことを検討してまいりたいと思っています。</p> <p>この計画を一旦市で決めたとして、最終的には、幼稚園の閉園や認定こども園の設置につきましては、議会の議決事項ですので、市議会に報告させていただき、ご協議いただくという形で進めてまいりたいと思っています。</p>
	<p>㉔公立幼稚園10園中7園が再編の対象となっています。幼稚園として残る3園では、あまり意見が出ないと思いますが、他の7地区で</p>	<p>㉔全ての方が反対という意見をいただいたときは、市としてもしっかりと受け止める必要があり、それなりの判断になるかと思っています。いろんな意見を</p>



	<p>全ての方が反対されたときは、計画案は廃案となるのですか。それとも市はこのまま再編計画を進めていくのですか。</p>	<p>いただくこととなりますので、今のところ廃案にするかどうかは言い難いところがございます。ただし、それが皆さんの総意であれば、尊重しないとはいけません。</p>
	<p>㉔私は反対していませんが、園児、保護者の方、地域が一体で良い方向に進んでいくのがベストだと考えますので、いろいろ意見を出し聞いてもらいながら進めていただくようにお願いします。</p>	
A	<p>㉕先ほどの話で出た7園以外の3園について、資料の中でわざわざ当面と付けている意味を教えてください。</p>	<p>㉕特に松が丘幼稚園につきましては、今の園児数は決して多いわけではなく、農村部と同じように規模で課題を抱えているというのが現状です。しかしながら、市街地に近く、当面、園児数の推移を見守りながら、令和6年度以降に幼稚園として残る3園に課題があれば、新たな判断をすることも考えられますので「当面」としています。</p>
	<p>㉖計画案4ページに来年度から預かり保育を増やすということが出ているが、その説明がなかったので、これでいいのか再確認させてください。</p>	<p>㉖預かり保育につきましては、週2日実施している幼稚園は、来年度から週3日に拡充するように考えています。今の計画案では、認定こども園化にあわせて、1号の園児さんの預かり保育を週5日実施できるような体制を整えてまいりたいと考えています。</p>
	<p>㉗「子育てするならゼッター三田」というキャッチフレーズはまだ生きていますか。以前から本当かと思いついて聞いていました。今回の計画案も子育てするなら本庄が良いと言える材料ではないような気がします。</p>	<p>㉗「子育てするならゼッター三田」のキャッチフレーズについては、以前は都市間競争ということで、他市より優れた子育て支援制度を作り、呼び込みをしていくということで進めてきました。今は競争しても取り合いになるという考えで、三田市独自の良さを生かした子育てを支援する「子ども・子育て応援のまち三田」という方向に転換していますので、自然や優れた教育機関を生かしながら進めてまいりたいと考えています。</p>